



愛衛だより

<http://aichi-shika.com>

発行人：長縄弥生 発行：公益社団法人愛知県歯科衛生士会

〒460-0002 名古屋市中区丸の内3-5-18 愛知県歯科医師会館内 TEL(052)962-9171 FAX(052)962-9172



「2期目を迎え」

新年度を迎え会の執行も2期目を迎えることになった。この2年を振り返れば診療報酬が改定され、医科と歯科の連携に関する項目が強化された。「医療介護の現場で歯科がもっと活躍するべきだ！医科と歯科と分けている場合ではない！」というメッセージだと受け取った。そして高齢者のフレイル(虚弱)に対する総合対策の専門職に歯科衛生士が明記されたことは記憶に新しい。どのようにすれば歯科衛生士として求められている機能を発揮できるのだろうか。

平成27年10月に日本慢性期医療協会武久洋三会長は定例会見で、リハビリ提供体制の見直しについて「自立歩行を至上目的にするべきではない。先ず、第一に取り掛かるべきは、嚥下障害と膀胱直腸障害に対するリハビリではないか」と強調した。「在宅復帰にとって最大の阻害因子は自分で食べられないこと、一人でトイレにいけないことである。こうした機能の回復を先ず目指すべきである」と述べている。この結果は言語聴覚士の介入によって効果が得られ示されているが、歯科衛生士も口から食事を摂取できることを支援できる職種である。現行の医療保険や介護保険制度、身分法、雇用状況の中で、いち早く患者また虚弱予防が必要とされている人に支援ができるシステム作りが望まれる。歯科診療室で患者を待つのではなく機能低下を気づくための地域参加が必要ということだ。

また本発表で改めて気づかされたこともあった。高齢者を取り巻く生活環境を視点に歯科衛生士としての機能を発揮することである。口腔ケア＝口腔内が綺麗になれば良い、ではなく例えば日常閉じこもり高齢者が歯科医院へいく(社会参加)、毎日洗面所で歯を磨く(整容の維持、健康への関心)など生活の場で高齢者の虚弱の予防について、対象者の生活や地域レベルで考えられる大きな視点をもった歯科衛生士が増えることの必要性である。どうしても歯科衛生士は口腔

という狭い範囲捉えがちであるが、歯科衛生というものが対象者の「生活」の一部につながっていくことを理解して欲しい。

私ども歯科衛生士の取り巻く環境は急速に変化している。改めて歯科衛生士の組織強化が望まれる時と思う。

今期の3重点項目は

1) 病院に従事する歯科衛生士の組織化と連携

昨年度末に歯科・口腔外科の標榜関係なく県下の病院すべてに郵送で歯科衛生士の勤務状況を確認した。それを踏まえ今年度、病院歯科保健委員会を設置し、4月に第1回病院歯科衛生士連絡協議会を開催したところである。今後は病院に勤務する歯科衛生士を組織化し、在宅訪問歯科衛生士との交流を持ち、地域で患者を支える体制作りを整備する。

2) 在宅訪問に従事する歯科衛生士の育成

昨年度に「はじめの一步」として初めて在宅訪問に従事してみたいと思う会員を対象に研修会を実施した。さらなる人材育成にむけ今年度も研修会を開催する。

3) 臨地実習指導者育成研修準備室の設置

現在の歯科衛生士養成機関での臨地実習は、各自の采配に委ねられている。きちんとした臨地実習指導者のための指針はなく、指導レベルにも差が出ていると感じる。また歯科診療所等で実習生を受け持った会員より指導方法がわからないという声もきく。この社会情勢をうけ教育カリキュラムも多少なり変化していることから、本会で指導者のための研修を実施し、ある程度均等な質の学生指導が行われることを目指したい。

これからの2年間、どのような制度や考えが生まれてくるのはわからない。時代、ニーズを捉え斬新な発想で他県にはない愛知県歯科衛生士会を目指していく。



公益社団法人
愛知県歯科衛生士会
会長 長縄 弥生

● 第5回通常総会 報告 ●

平成28年5月29日(日)定刻午前10時に、会長長縄弥生は開会を宣言した。

愛知県歯科医師会館において出席正会員数531名(出席者数58名・委任状出席者数473名)であり、定足数に達し成立した。

議長に吉川富恵、議事録署名人に金原理佳及び社本久美の2名が選任された。

議案別議決の結果、第1号議案平成27年度事業報告(案)に関する件、第2号議案平成27年度収支決算(案)に関する件は執行部からの説明後、会員から無料職業紹介の契約成立の件、歯科衛生士相談内容の件について質疑後、各議案共に全員の賛成で承認された。

第3号議案役員改選と理事・監事の就任に関する件は、立候補者が定数を超えなかったことにより全員無投票当選と承認された。それを受けて、新執行部は会長始め3役を提示、満場一致で承認された。会員からの議案提出無く、午前11時30分閉会を宣言し解散した。

平成28・29年度 理事紹介

■ 副会長 柴田 享子

健康増進からリハビリテーションまで歯科衛生士は歯科保健指導で幅広く県民に貢献できます。多くの仲間が地域の中で輝けるよう、常に新たな視点をもってその人材育成と環境整備に組織運営面から支えて参ります。

■ 理事 水草 あゆみ

理事2期目を迎えました。1期目は仲間とともに「病院勤務者の組織化」と「新人対象の研修会」の企画に取り組みました。今期は新たなチーム編成でさらに仲間を増やしたいです。皆さまご協力よろしくお願いいたします。

■ 理事 天野 祥子

今期も広報を担当します。皆様のご協力を得て、会員と会員、会員と多職種、会員と県民の懸け橋になれるように努力します。よろしくお願いいたします。

■ 新理事 後藤 美鈴

今年度新設の病院歯科保健担当となりました。知多支部に所属し、現在、急性期病院に勤務しています。病院歯科衛生士の連携を目的に、微力ながら貢献したいと思えます。よろしくお願いいたします。

■ 副会長 久田 せつ子

「求められる歯科衛生士に」
会員にいちばん身近な支部、支部活動の充実が歯科衛生士の信頼・結束に繋がります。一人一人が支部の中で動きましょ。それは自分の仕事(歯科衛生士)を進歩させます。会執行部には、継続しての関わりです。よろしくお願いいたします。

■ 理事 小栗 智江子

今期も引き続き災害対策を担当させていただきます。平時の連絡体制の整備、関係団体・行政との連携に努めていきたいと思えます。よろしくお願いいたします。

■ 理事 森下 志穂

今年度より、高齢者医療福祉対策委員会の担当となりました。「地域包括ケアシステム」の構築を念頭に置き、各支部の高齢者担当の方たちと連携を取りながら進めていきたいと思えます。よろしくお願いいたします。

■ 新理事 細久保 真理子

今期より地域保健啓発事業担当理事を務めさせていただきます。地域でのイベント事業を通して歯科衛生士が社会で広く認知されるよう、会員の皆様と共に活動に励みたいと思えます。

■ 専務理事 金森いづみ

今期から専務理事を拝命いたしました。医療・介護の世界では多職種連携の重要性が認識されています。多職種連携のシステム構築には組織の力が必要です。社会に求められる歯科衛生士会をめざして、組織運営に力を注いでいきます。

■ 理事 松井 かおる

前回に引き続き、理事をさせていただきますことになりました。会員の皆様にとって本会が魅力ある歯科衛生士会となるよう、活動の視えるかを心掛け、これからも頑張りたいと思えます。

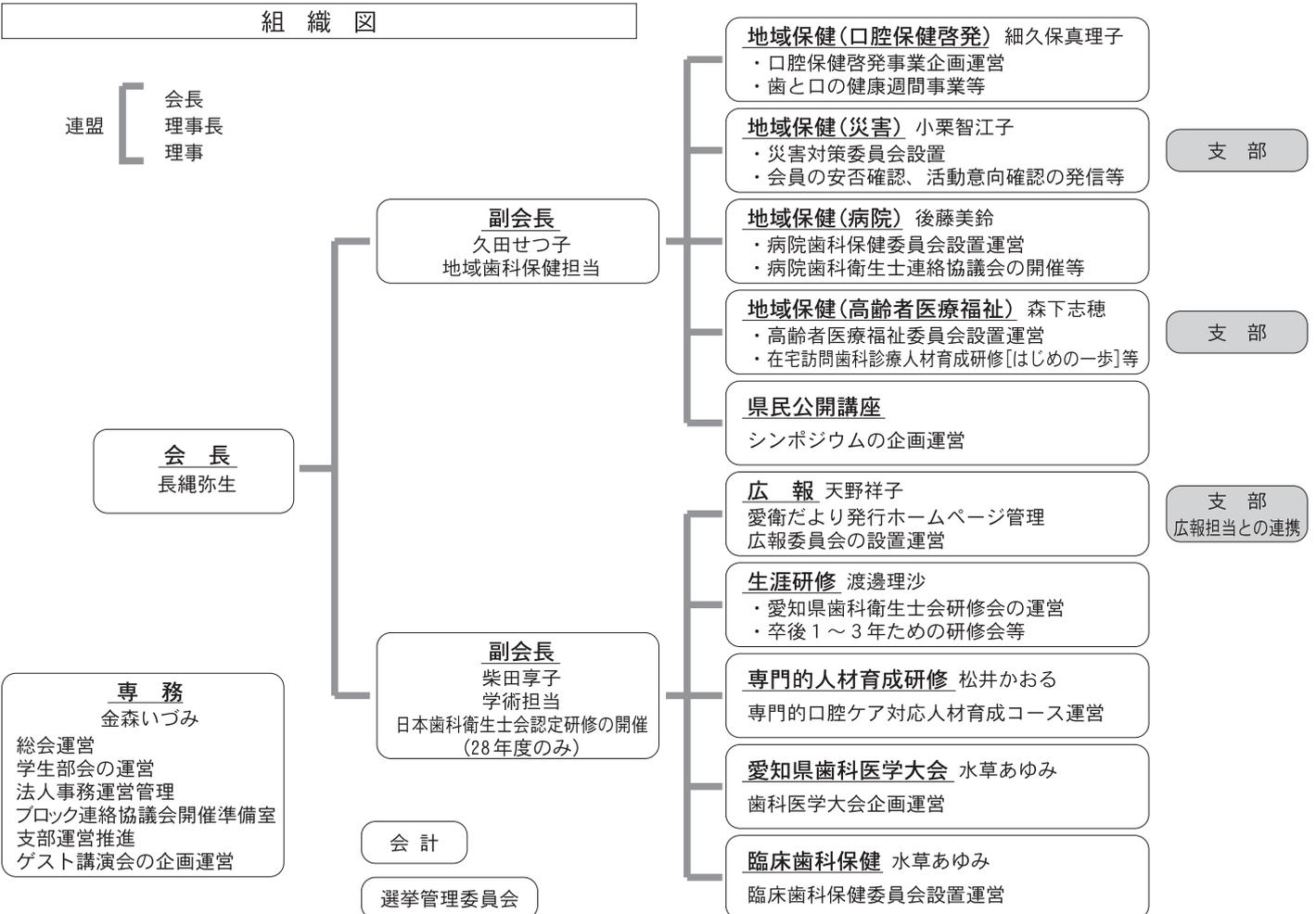
■ 理事 渡邊 理沙

前期から引き続き、研修を担当します。みなさんの臨床に直結する研修会を企画していきます。また、社会に求められている医療に対応できるように、有用な情報発信を行います。

■ 監事 池山 豊子

20年近く会務に携わってきた経験者として、新しい方向に向う会をサポートしていきたいと思えます。

組織図



「第一回病院歯科衛生士連絡協議会開催」報告

水草 あゆみ

4月17日 愛知県歯科医師会館において、県内の病院に勤務する歯科衛生士の連携強化を目的に病院歯科衛生士連絡協議会を開催した。テーマは「どうしてですか？口腔乾燥」とし62名の参加者があった。

前半のシンポジウムは、名古屋第一赤十字病院歯科口腔外科 中山桂子歯科衛生係長を座長とし、シンポジストに川本正美(岡崎市民病院歯科口腔外科)、藤成美沙(公立陶生病院歯科口腔外科)、牧優美(医療法人愛生館小林記念病院医療技術部リハビリ科)、岩瀬賀恵(医療法人義興会可知記念病院歯科)の4名が症例発表をした。各々急性期病院病棟の口腔ケア専任、急性期病院の外来診療と病棟口腔ケアの双方を担当、回復期・維持期病院(歯科医師不在)、精神科・内科病院内の歯科診療室の立場から、症例の背景に配慮した介入が発表された。ディスカッションでは、一概に"病院"と言っても歯科衛生士を取り巻く職場環境は様々で、環境に即した柔軟な対応を取る必要がある。チー

ム医療が重視されるなか、医科の知識、コミュニケーション能力など様々な手法が必要になっているが、ベースとなる摂食嚥下などの口腔の基礎知識が必須であるとの認識を共有した。

後半の意見交流会では、柴田副会長の「地域包括ケアシステム」の話題提供ののち、参加者が地域別の4グループに分かれ自己紹介と地域連携の現状について情報交換をした。

現在、日本歯科衛生士会には全国病院歯科衛生士連絡協議会が設置されているが、これまで本会にはそれに相当する組織はなかった。今回の参加者からは開催を支持する声が多数聞かれ散会後も参加者が交流を深める姿が目立った。あらためて今後の組織化と活動の必要性を感じた。

今期本会の重点項目にも挙げられており、病院勤務者は益々の連携を図っていききたい。



意見交流会の様子

特集

愛知県歯科衛生士会ゲスト講演

「歯科衛生士に期待すること」

～看護管理者の立場から～

開催日時：平成28年5月29日(日) 13時～14時30分

会場：愛知県歯科医師会館 403

講師：名古屋大学医学部附属病院 看護部長 市村 尚子氏

現職前は文部科学省高等教育局医学教育課大学病院支援室専門官として勤務。今回その経緯より看護師のみならず医療・介護に携わる職種への教育や国が求めている人材育成の現状を交えながら、今後の歯科衛生士に期待される事を提言された講演会の骨子を記す。

《講演内容》

～自己紹介～

機嫌よく大好きな神戸で看護師(助産師・正副看護師長)として働いていたところに突然の職場転換。東北大震災直後から文科省勤務となり、福島原子力災害支援のために2年間は毎月5日間現地対策本部の医療班メンバーとして勤務。神戸・東北二つの震災での経験を「人生に無駄はない」と言い切る潔さ。歯科衛生士の仕事の一つである歯科予防処置を、保助看法と比較して専門性が高いと感じている。

～GP事業から～

文科省にはGP事業(Good Practice優れた取組)という教育改革がある。過去に採択・実施されたGP事業は「歯科衛生士の育成ー歯科口腔介護教育のカリキュラムへの導入」や「チーム医療推進のための大学病院職員の人材養成システムの確立」があり「岡山大学病院ペリオ人材育成研修センター」の立上げがある。そこでは周術期チーム医療認定専門職として歯科衛生士を含む12名の院内認定が行われた。

～「歯科衛生士」が明記～

近年、医科・歯科連携のチーム医療が重視されており、H26年の厚労省「医療・介護分野の改革の進捗状況について」にも歯科衛生士の業務実施体制の見直しが明記され、同年度開始の文科省「課題解決型高度医療人材養成プログラム」にも職種名が明記された。H28年度改定の診療報酬にもかかりつけ歯科医機能強化型歯科診療所の施設基準に歯科衛生士の配置が明記された。チーム医療に歯科衛生士は重要なチームメンバーであり、その育成には特に実習内容を改善・充実させ

た教育プログラムと教育指導者育成の必要性が急務という市村案が提出された。文科省HPの「チーム医療に貢献でき、高い指導能力を持ったメディカルスタッフの養成」には口腔機能回復領域(歯科衛生士・歯科技工士)と明記された。

～現在のGP事業～

『健康長寿に貢献する実践的チーム医療人育成』というGP事業を提示した結果、東京医科歯科大学・広島大学・九州歯科大学が連携して教職員の相互派遣・オンライン会議・eラーニング教材の相互活用を行い、学生・指導者間で交流・共有している。これは歯科衛生士及び歯科技工士を目指す学生に、チーム医療が実践できる技術力を習得させる事と共に、実習指導者の指導力・技術力を向上させるプログラムを構築する事を目的としている。

～看護管理者の立場から期待する事～

"誰がどうする"ではなく、優れた人から支援・指導を受ける事が患者さんの幸せになる。質の高い医療を行うには、医療職が専門性を発揮することが必要不可欠であるから、益々歯科衛生士と看護師の「協働」が求められる。

口腔内の健康を維持・増進する仕事は、人が生きる事へのサポートである。と締めた。

その後も活発な質疑応答が行われた。



目指せ！認定歯科衛生士！！

森下 志穂

認定歯科衛生士とは、特定する専門分野において高度な業務実践の知識・技能を有すると認められた歯科衛生士である。歯科衛生士の国家資格があれば、歯科衛生士としてどんな歯科医院でも働くことができる。しかし、医療は日々進歩しており、国家資格を得たらそれで終わりではない。最新の知識、技術を学び続け、自己研鑽を重ねることは、歯科分野の専門職である歯科衛生士にも必要なことである。医療分野では専門化が進んでおり各職種ごとに専門の認定を設けている。歯科でも専門化が進んでいる。今回は、日本歯科衛生士会や歯科専門学会が認定する専門認定歯科衛生士制度の一部を紹介する。

認定歯科衛生士の受験資格や実務経験、審査方法、

登録料等は各審査機関により異なるため、確認が必要である。認定取得のために勉強することは、自分のためだけでなく患者にとって利益となることは明らかである。認定を取得し維持して行くことは、常に、新しい情報に目を向け学び続けることに繋がる。その姿勢が、自身の活躍の場を更に広げて行く可能性も秘めている。現状、他職種に比べ歯科衛生士の認定資格についての認知度は低い、専門性を持った歯科衛生士がそれぞれの場で活躍することで、認知度も広がっていく。

皆さんも、一歩踏み出し認定の取得を目指してみませんか？

認定資格	審査機関	備考
生活習慣病予防（特定保健指導-食生活改善指導担当者研修）	日本歯科衛生士会	
摂食嚥下リハビリテーション	日本歯科衛生士会	
在宅療養指導・口腔機能管理	日本歯科衛生士会	都道府県歯科衛生士会共催
糖尿病予防指導	日本歯科衛生士会	徳島大学歯学部委託
医科歯科連携・口腔機能管理	日本歯科衛生士会	九州歯科大学委託
障害者歯科	日本障害者歯科学会	
老年歯科	日本老年歯科医学会	
地域歯科保健	日本口腔衛生学会	
口腔保健管理	日本口腔衛生学会	
日本歯周病学会認定歯科衛生士	日本歯周病学会	
インプラント専門歯科衛生士	日本口腔インプラント学会	
日本歯科審美学会歯科衛生認定士	日本歯科審美学会	
ホワイトニングコーディネーター	日本歯科審美学会	
日本成人矯正歯科学会矯正歯科衛生士	日本成人矯正歯科学会	
日本小児歯科学会認定歯科衛生士	日本小児歯科学会	
日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士	日本摂食嚥下リハビリテーション学会	
NST専門療法士	日本静脈栄養経腸栄養学会	

連載

支部イチ！！（第6回）

三河東部支部
古瀬 早苗

私は奥三河の新城市にある歯科医院に勤めている。5年ほど前から在宅の口腔ケアにも携わることになり、本や勉強会などで学んだものの自分に上手く繋げることが出来ずにいた。2年前から市の多職種研修会に参加する中、口腔ケアの関心やニーズが高まってきていることを実感した。そこで歯科衛生士として胸を張って発言できないことに危機感を抱き、一念奮起して昨年度の専門的口腔ケア対応人材育成研修（ベーシックコース有病者・在宅）を受講した。

研修での実習は、急性期・回復期・維持期などの病院、グループホーム・老人ホームなどの

施設、在宅、様々な現場で患者を通して学習したことにより全身疾患の理解にもつながった。また具体的な口腔ケアや嚥下機能の評価なども学ぶことができた。

研修を終えて、訪問先や診療室で患者の口腔機能や全身状態に気を配れるようになった。そして困った時、分からない事があった時に相談できる仲間や先輩ができたことは、片道2時間半かけても充分価値のあるものであった。

今後はこの経験を活かし、高齢化が深刻な課題である地元新城市で多職種と連携し、活躍できるように共に学び活動できる仲間を作っていきたい。



医歯薬出版は歯科衛生士のみなさんを応援します！

デンタルハイジーン 別冊

わかる・気づく・対応できる！

診療室からはじめる 口腔機能への アプローチ

- “口腔機能” への取り組みを始めたくても、“何をみて、どのように対応すればいいのかわからない”……
- 生涯 “食べられる口” を守るために、**歯科医療職、必読の書！**

菊谷 武・田村文誉
水上美樹 編著



■ AB判 / 132頁 / カラー
■ 定価 (本体 3,300円 + 税)

近年、歯科医療職には、齶蝕や歯周病といった口腔内の疾病を治療・予防するだけでなく、口腔機能の健全な育成やその維持・向上を担うことが求められています。

小児においては、健全な口腔機能の獲得を目指したさまざまな取り組みが行われ、高齢者においては、口腔機能の変化をすみやかに察知し、介護予防につなげること、また、“最期まで食べられる口”をつくるための摂食嚥下リハビリテーションなどが歯科の役割として広く認知されるようになってきました。

本書では、豊富なイラストと写真を用いて、口腔機能のしくみを基礎から解説するとともに、“口腔機能への視点を日常臨床にどう結びつけるか”という点についてやさしく解説しました。



■ B5判 / 226頁 /
2色刷 (一部カラー)
■ 定価 (本体 4,000円 + 税)

続 5 疾病の口腔ケア

プロフェッショナルな実践のための Q&A 55

藤本篤士・武井典子・東森秀年・糸田昌隆・大野友久・永田俊彦 編著

- 『5 疾病の口腔ケア』 待望の続編！
- 5 疾病罹患者の口腔のさまざまなトラブルに、さらに適切に対応するために

5 疾病の口腔ケア

チーム医療による全身疾患対応型口腔ケアのすすめ

藤本篤士・武井典子・片倉 朗・大野友久・糸田昌隆・杉山 勝・吉江弘正・小林芳友 編著

5 疾病の全体像および口腔ケアについて総論と基本テクニックを解説

■ B5判 / 220頁 / カラー ■ 定価 (本体 4,000円 + 税)

あわせてお読みいただくと
理解が深まります！



デンタルハイジーン 別冊

歯科衛生士のための

カリオロジー

伊藤 中 著

40のポイントを学んで最新の
カリオロジーをアップデートしよう！

■ AB判 / 128頁 / カラー ■ 定価 (本体 3,200円 + 税)



デンタルハイジーン 別冊

診療室・多職種協働の現場で生きる！

歯科衛生士のための 全身疾患ハンドブック

橋本賢二・増本一真 編著

臨床で生きる全身疾患の知識が養えます！

■ B5判 / 164頁 / カラー ■ 定価 (本体 3,200円 + 税)



デンタルハイジーン 別冊

歯周病を治す SRP

できる歯科衛生士のスキルと知識

沼部幸博・貴島佐和子・土屋和子 編著

“SRP”を効果的に実践するために
必要な知識とテクニックが見てわかる！

■ AB判 / 128頁 / カラー ■ 定価 (本体 3,200円 + 税)



新 PMTC

予防・メンテナンス・SPTのための
プロケアテクニック

内山 茂・波多野映子 著

ベストセラー書「PMTC2」をリニューアル
見やすく、読みやすくなりました

■ A4判 / 130頁 / カラー ■ 定価 (本体 4,400円 + 税)





支部コーナー

★ ウェルカムパーティーで和気あいあい！

〈三河南部支部〉

6月12日刈谷市「四季亭」にて新入会員2名を迎えウェルカムパーティーを開催した。

支部運営の中で会員の結び付きを強化する事業であるこのパーティーは、歯と口の健康週間事業の慰労会でもあり地区を越えた会員間の交流の場となった。

「仕事で行詰まっている」「現在求職中、良い情報はあある？」「次の研修会は好評だった調理実習もいいよね。」「日帰り懇親会する？」とあちらこちらで話の花が咲いていた。さらに食欲が満されるに連れ、心の壁が掃われ笑い声が大きくなっていった。

これからもこういった機会を大切にしていきたい。

板倉 直美



ウェルカムパーティーの様子

★ 歯っぴかフェスタ！が開催されました

〈豊田三好支部〉

6月5日豊田市内の商業施設内にて歯と口の健康週間事業の一貫として、市主催の「歯っぴかフェスタ！」（本支部：協力）が開催された。

前日から雨が降り続きあいにくの天候であったが、幼児から高齢者まで予想をはるかに上回る475名が来場した。



フェスタでのコマ

フェスタでは来場者に黒いクッキーを食べてもらい、何回で飲み込めるか、食べ終わった後の口腔内がどうなっているかを手鏡で観察してもらう体験を行なった。食べ終わった後の口腔内を見た来場者は一様に驚きの声をあげ、歯みがきの重要性を実感できたようである。また、「歯みがきフンポイントレッスンコーナー」では災害備蓄品として推奨されている液体歯磨きを配るなど来場者に高い関心を示して頂ける内容であった。

会場には豊田市公認のゆるキャラ「たべまる」と「きらちゃん」も参加し、子ども達に囲まれとても和やかな雰囲気であった。

山下 杏子

★ 歯と口の1日健康センター 〈名古屋支部〉

5月26日中川保健所、中川区役所講堂にて開催された。対象者は0歳児から小学6年生とその保護者である。

名古屋支部会員は歯みがき指導とフッ化物塗布に従事した。参加者からは歯の磨き方やフッ化物についての質問が多くあった。一人ひとりに合わせた対応をしたことでお口の健康に興味を持ってもらうことができた。このように1年に一度、区民と交流できる良い機会であると感じた。

名古屋支部では市内13区の歯科医師会と共催しており、今後も会活動として継続していきたい。

新川 雅子



歯みがき指導の様子

★ 「歯とお口の健康センター」を終えて

〈尾張西部支部〉

6月5日稲沢市の2ヶ所の保健センターで「歯とお口の健康センター」が開催された。内容は歯科医師による歯科健診・相談・フッ化物塗布で、会員16名はブラッシング指導に従事した。2ヶ所の来場者数は、大人213名、小人268名、合計481名となった。

悪天候の中、市民の関心の高さを実感させるものとなった。

今後もより幅広い年齢層の方でも興味を引く内容の取り組みを提案していきたい。

山田 陽子



ブラッシング風景

★ 前期歯の健康センター

〈愛知西支部〉

5月29日に海部・津島地域の南部ブロックとして飛島村で開催した。PRを各々工夫したこともあり村内だけでなく近隣市町からの参加も多く、前回開催時の2倍の140名の参加者であった。

幼児の口腔機能に関連させ、のび〜る君、ゆるキャラ飛ばしのイベントコーナーをつくり、親子で楽しんでいただけた。

小林 松美



イベントコーナー
(のび〜る君、ゆるキャラ飛ばし)の様子

★ 歯の健康フェスティバル

〈三河東部支部〉

当支部は、毎年各市の歯科医師会主催の「歯の健康フェスティバル」に協力している。今年度は6月5日に開催され、豊橋市2400名、豊川市583名、蒲郡市196名の各地区で多数の参加者があり、7月には新城市でも開催が予定されてる。

設置されるブースはそれぞれ異なるが、フッ化物塗布から歯周病健診までのブースにも幅広い年代の参加があり、市民の口腔保健の意識の高さが印象的であった。私たちにも非日常的な体験は、翌日からの業務の幅を広げる非常に有意義な時間となった。また、支部会員との交流は、自己研鑽・情報交換に役立てることができた。

楠本 裕枝



ブラッシング指導の様子



唾液検査の説明をしている様子

★ 歯と口からはじまる健康フェア2016

〈岡崎支部〉

6月12日に岡崎歯科医師会主催の「歯と口からはじまる健康フェア2016」が開催された。口腔がんの講演会と検診が主な内容で、健康に関するミニ講話やがん予防の食事の試食、各ブース等での体験等盛り沢山のイベントであった。当支部は口腔ケアのミニ講話とブースでお口の体操の紹介を行なった。

参加者は健康に関心が高くどのコーナーでも熱心に耳を傾けていた。

芝鼻 美紀

★ 新・かけっこミュージアム

〈知多支部〉

「歯と口の健康週間事業」として6月5日に武豊町保健センターで無料歯科健診・フッ化物塗布が行われた。知多支部会員4名が従事し、訪れた家族384名を対象に紙芝居を使用したむし歯予防の啓発を行った。

今年は手作り紙芝居「かけっこミュージアム」をリニューアルしおやつを選択、噛む事の大切さを伝える内容を盛り込んだ。

健診後にも関わらず多くの家族が足を止め、子ども達から「紙芝居おもしろかった！」との感想を頂いた。

糟谷 沙織



紙芝居を実施しているところ

★ 歯と口の健康週間事業

〈尾張東部支部〉

今年も6月に瀬戸市、長久手市、豊明市にて歯と口の健康週間に関する支部事業が開催された。新入会員を含む出勤歯科衛生士20名は、各会場でブラッシング指導・フッ化物塗布・媒体を使用した集団指導などを行なった。瀬戸市の来場者は311名で家族揃ってブラッシング指導を受けたり、父親が対象児を連れ日頃の仕上げ磨きの相談をするイクメンパパの姿も例年より多くみられ盛況のうち終了することができた。

塚本 圭子



瀬戸市 歯の健康教室



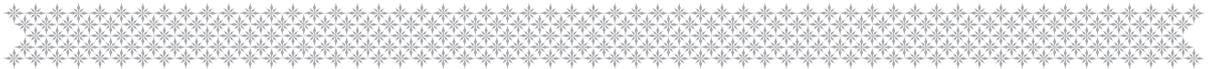
フッ化物塗布の様子

★ 春の歯と口の健康週間事業

〈尾張北部支部〉

6月5日に犬山市、扶桑市、江南市、大口町、岩倉市にて尾北歯科医師会と行政の主催で、小児歯科健診・フッ化物塗布・成人歯科健診が実施された。あいにくの雨模様であったが来場者は多く、無事終了する事ができた。今後も歯の健康づくり活動を積極的に協力していきたい。

松本 弘子



校舎

第6回 母校を訪ねて

金森 いづみ

愛知学院大学短期大学部歯科衛生学科



高阪利美教授

本校は現在愛知県内にある歯科衛生士養成校としては最も歴史がある。昭和43年「愛知学院大学歯科衛生士学院」として設置され、昭和52年に「愛知学院大学歯科衛生専門学校」と名称が変更された。そして、平成18年に「愛知学院大学短期大学部歯科衛生士学科」となり3年生教育がスタートした。その後平成21年に短大卒業後1年間の教育を受け、学士を取得できる「愛知学院大学短期大学部専攻科」が増設された。

その歴史の中で長年歯科衛生士教育に携わって来られた高阪利美教授が、歯科衛生士として初の歯科衛生士学科の学科長に就任された。

今回は高阪学科長に話を伺った。

【学校の特徴は？】

人から言われて動くのではなく、自ら考え自ら行動ができる学生を育てていきたいと考えている。その点本校は歯学部、薬学部等と共有の図書館があり広く学ぶことができ、必要に応じて日進キャンパスの図書館の本を取り寄せることも可能である。また、教授陣が身近にいて、いつでも質問できるなど学ぶ環境が整っているというのが本校の特徴である。

臨床実習において特徴的なのは、附属病院の「口腔衛生科」の実習である。ここでは、歯・口の健康づくりのサポートを行っている。特に専攻科の学生は歯科衛生過程に沿ってアセスメントをし、ケア計画を立て、実際にプロフェッショナルケアを行っている。卒業時

には担当した患者の症例報告を行い1年間のまとめとしている。これらの実習を通して「考える力」を養うことを重視している。

【コアカリキュラム】

本校の特徴は全員に「卒論」を書かせることである。慣れない論文を書き上げるのは大変なことではあるが、貴重な経験になるため先生方の協力を得て取り組んでいる。

【3年生教育での新たな取り組み】

詰め込む教育からゆとりをもって学ぶことが可能になった。特に1年から2年にかけてスケーリング、ルートプレーニング、保健指導などをじっくり学ぶことができるようになった。

【卒業生の就職先について】

歯科診療所へ就職する学生がほとんどであるが、病院や企業に就職する学生もいる。また、専攻科を卒業した学生の中には大学院を目指す学生もいる。

今回、卒後30年経った母校を訪ねたが、新しい校舎、教育の内容、学生の様子など時代の変化を実感するものであった。時代は変わっても「社会に求められる歯科衛生士」を目指す心は変わらないと信じている。



高阪教授と学生

ホームレス者の健康状態について

久田せつ子、三宅やよい、藤田紀江、伊相昌代

名古屋市において、生活困窮者支援を目的としてNPOささしま共生会がデイケアセンターを開設していた。平成23年度より平成27年度まで月1回の健康診断および相談に本会も協力したので報告する。

歯科は硬組織疾患診査、予防的処置（ブラッシング指導を含む）、治療を望む場合は生活保護の一部である医療扶助を勧めた。ホームレス期間と口腔状態の悪さは相関していた。

検診結果から検診者の未処置歯は30歳台で9.4歯と全国平均の10倍近くあった。喪失歯は40歳台で6.3歯と全国平均の5倍であった。

引用：全国歯科疾患実態調査(23年)

表) 医療相談状況(平成27年度)

開催数 (回)	ホームレス者の住居 (人)				内科	歯科	紹介状 (歯)	ブラッシング 指導	従 事 DH 数
	野宿	アパート	知人宅	その他					
12	195	114	12	4	320	178	26	157	24

歯科衛生士の「働く」のそばに、いつもクオキャリアがいます。

歯科衛生士の 就職・転職は クオキャリア

歯科衛生士求人 クオキャリア
Quacareer

WEB (スマホ・PC)

業界最大級！新卒から転職・パート希望者まで、すべてのDHが使える専門求人サイトです。勤務地・沿線検索やキーワード検索など便利な機能も充実。あなたにピッタリの職場が見つかります。



就職情報誌

新卒 DH 必見！1,000を超すDH求人情報と就活に役立つコンテンツが満載のフリーマガジンです。全国のDH養成学校に設置されているほか、WEB サイトから無料で取り寄せることもできます。



DH 就活フェス

社保完備の厳選優良求人が現地の会場に大集結！多くの現役DHから「ホントのところ」を直接、それも一気に聞けるのが魅力。就活全般の悩みを相談できるコンシェルジュコーナーも好評です。



クオキャリア

検索

▶ <https://www.webqua.jp> ▶



歯科衛生士求人 クオキャリア
Quacareer

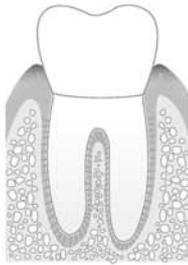
TEL : 03-5927-9442 (平日 10:00~18:00)

株式会社 クオリア・リレーションズ
クオキャリア事務局

【東京本社】〒170-0005 東京都豊島区南大塚 3-46-3 大塚セントコアビル 6F
【大阪営業所】〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島 5-7-11 第8新大阪ビル 6F

口腔環境に応じた 歯磨剤の使い分けを。

う蝕・歯周病予防に



フッ素と殺菌剤の効果を
最大限に引き出すコートジェル処方

フッ素コート歯みがきジェル
ジェルコートF

90g 1,000円(税抜) 医薬部外品

インプラントに



インプラントを守る
天然歯も守る

インプラント歯みがきジェル
ジェルコートIP

90g 1,000円(税抜) 医薬部外品

歯肉の炎症・退縮に

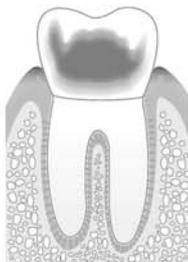


歯肉組織の回復を助ける
歯肉炎・歯周炎予防ペースト。

歯肉活性化歯みがき剤
リペリオ

80g 1,200円(税抜) 医薬部外品

気になる着色に



週1~2回のスペシャルケアで
自然な白い歯へ。

ホームケアクリーニング剤
クリーニングジェル<ソフト>

40g 1,500円(税抜) 医薬部外品

愛知県歯科衛生士会の会員の皆様へ

医療
保障



メディカルKit R
医療総合保険(基本保障・無解約返戻金型)
健康還付特例 付加【無配当】
使わなかった保険料が
戻ってくる
“新しいカタチの医療保険”

医療
保障



メディカルKit NEO
医療総合保険(基本保障・無解約返戻金型)
【無配当】
「短期の入院」も「長期の入院」も
「働けなくなったとき」も保障する
あなたに合った医療保険

死亡
保障
(定期)



**家計保障定期保険
就業不能保障プラン**
重度5疾患・重度介護保険料払込免除特例
重度5疾患・重度介護家計保険特約 付加【無配当】
万一のときも働けなくても
毎月のお給料のように
給付金が受け取れる定期保険

◀プレミアムシリーズ▶ より大きな安心をご提供できる生存保障革命のお勧め商品です。

がん
保険



がん治療支援保険NEO
がん治療支援保険NEO(無解約返戻金型)
【無配当】
「初めてのがん」にも
「長引く通院治療」にも
あんしんがん保険

がん
保障



がん診断保険R
がん診断保険(無解約返戻金型)
健康還付特例 付加
使わなかった保険料が
戻ってくる
“新しいカタチのがん保険”

死亡
保障
(終身)



長生き支援終身
無解約返戻金型終身介護保険
【無配当】
万一のときも介護のときも
長生きにもお役に立てる
新型終身保険



東京海上日動あんしん生命

本社番号 15-K101-H2093 C76-10096 資定201601

**生命保険や損害保険を取り扱って
おりますので、お気軽にご連絡ください。**

賠償責任 保険	所得補償 保険	火災保険	地震保険
学資保険	生命保険	医療保険	がん保険

お気軽にご相談ください！！

(有)イダ損害保険事務所
(有)イダ生命保険事務所

取扱団体: 全日本病院協会・名古屋市医師会協同組合
愛知県歯科医師会・名古屋市歯科医師会協同組合等
〒454-0022 名古屋市中川区露橋2-26-7
TEL 052(363)2156 FAX 052(363)3792
Email: iida-hoken3@fancy.ocn.ne.jp

イダ保険

続報 第6回 県民公開シンポジウム「食べるを支えるまちづくり」 アンケート結果報告

柴田 享子

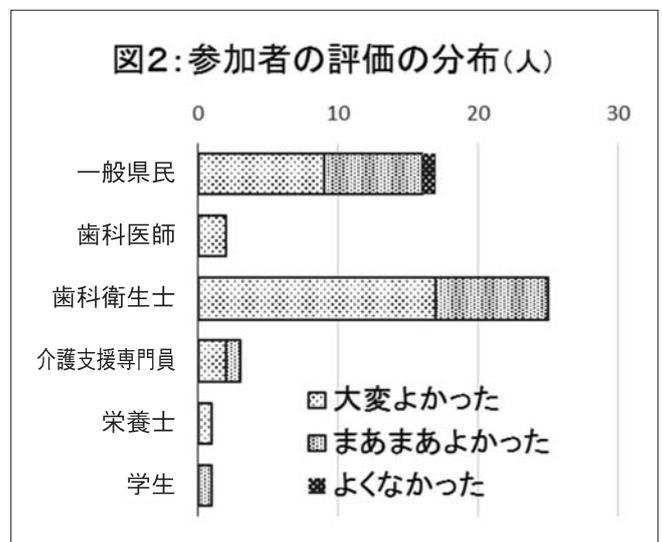
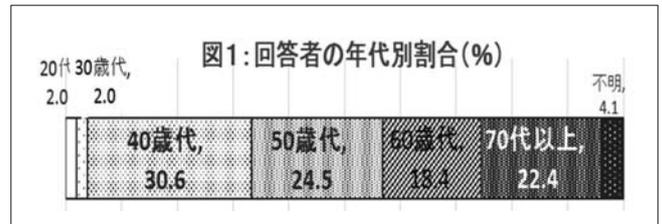
本紙前号（平成28年3月発行）で掲載された標記シンポジウム（平成28年3月6日開催）の参加者のうち61名のアンケートの回答結果の概要を報告する（回収率68%）。

回答者の内訳は、一般県民が35.3%、歯科衛生士51.0%および歯科医師が3.9%、介護支援専門員、栄養士、及び学生が9.8%で、一般県民は去年の42.4%に比べ、やや少なかった。これは、開催場所によるものと推測された。

参加者の年代別割合は、一般県民では60歳以上が80%以上で、こうした会への参加のしやすさから今回のテーマへの関心があると推察された。居住地別では会場がある千種区が最多であった。

催事を知った媒体は、ポスターと新聞が60%以上で、これらによく目を通していると推測された。シンポジウムの感想については、ほぼ良好な評価であった（図2）。自由記載をみると、一般県民から「高齢者にとって町づくりを通じて心のつながりが、いかに大切かを考えさせられた」「全部のお話が初めてで、今後こんな会に参加したい」との感想があった。歯科衛生士やその他の職種では「一般県民の方が参加できるこのような取り組みは大変意義のあると感じる」など、本シンポジウムの意図を理解するものがあった一方、開催場所や日時を考慮してもっと参加者を増やしては、などの意見もあった。

これらの結果から、本事業は県民への情報提供に一定の効果があったと推測され、今後の参考になると考えられた。



～おめでとうございます～

日本歯科衛生士会長表彰 永年精励賞

6月12日、(公社)日本歯科衛生士会代表委員会の席上で、当会の山中幸子会員と山口敏子会員に日本歯科衛生士会長表彰永年精励賞が授与された。

永年精励賞は正会員歴35年以上で年齢が65歳以上の方が対象となる。現在も勤務継続中のお二人に今後も活躍を期待する。



受賞する
山口敏子さん

● 会 動 向 ● 2016/4/1～6/30

- 4月 4日 慈恵歯科医療ファッション専門学校入学式
- 4月 5日 ナゴノ福祉歯科医療専門学校入学式
- 4月 6日 専門学校デンタル歯科衛生士学院入学式
- 4月 7日 名古屋市歯科医師会附属歯科衛生士専門学校入学式
三河歯科衛生専門学校入学式
防災に関する歯・技・衛・材連絡協議会
- 4月11日 名古屋医健スポーツ専門学校入学式
- 4月28日 監査監事会
- 5月 8日 第1回理事会
- 5月18日 平成28年度在宅歯科医療連携室事業打ち合わせ会
- 5月20日 愛知県・岡崎市総合防災訓練第2回総合会議
- 5月29日 第5回通常総会
ゲスト講演会
第1回支部長会
第2回理事会
- 5月31日 「禁煙週間」「歯と口の健康週間」街頭キャンペーン
- 6月12日 日本歯科衛生士会 代議員会
- 6月30日 歯科衛生士養成校との協議会